

# 日本海沿岸東北自動車道 遊佐～象潟 計画段階評価について

## 目次

1. 前回（第4回東北地方小委員会）の主な議事内容	・・・	1
2. 意見聴取概要	・・・	2
3. 住民アンケート結果	・・・	3
4. 企業等からの意見聴取結果	・・・	8
5. 高校生からの意見聴取結果	・・・	10
6. 意見聴取結果（まとめ）	・・・	11
7. 市町長の意見聴取結果	・・・	12
8. 日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）の対応方針（案）	・・・	13
9. 事業化までの流れ	・・・	14

東北地方整備局 秋田河川国道事務所・酒田河川国道事務所

平成23年11月

# 1. 前回(第4回東北地方小委員会)の主な議事内容

## ◆第4回東北地方小委員会

平成23年9月21日(水)開催

## ◆主な議事

日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟)の計画段階評価着手について

### 【主な意見】

- ・日本海沿岸東北自動車道の広域的な役割など、日本の国土軸として重要であるという点を示すべき。  
→チラシの裏表紙に当該路線の役割として、「日本全体の国土軸の形成とダブルネットワークによる信頼性向上」、「国内の効率的な移動経路の確保」、「地域の高次医療施設への速達性確保」の3点について記載
- ・意見聴取を進めることについて了承。

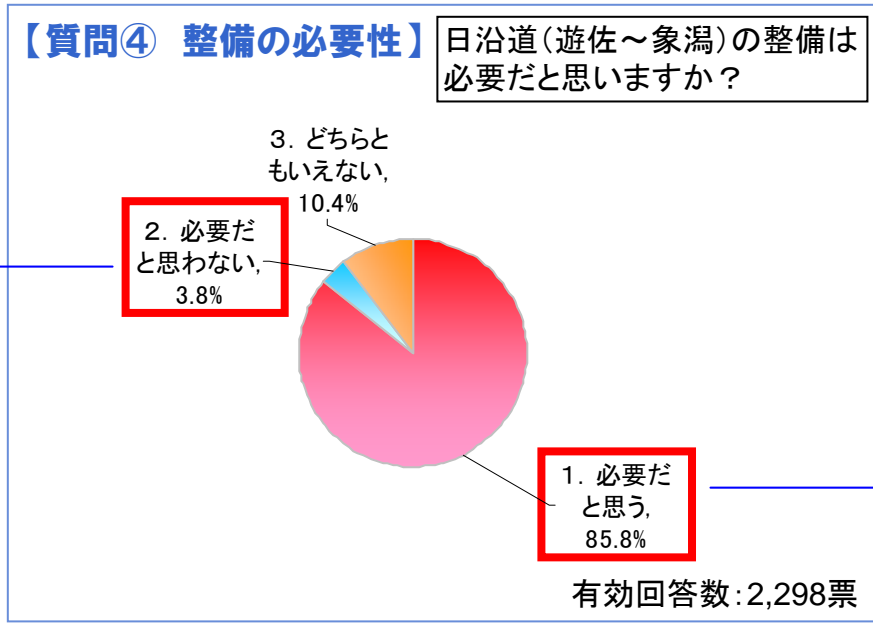
## 2. 意見聴取概要

以下について実施

実施項目		回答方法	実施概要
9/30 ～ 10/16	住民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場等にアンケート票と投函BOXを設置し、その場で記入、投函</li> <li>・インターネットで回答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■投函BOX設置箇所: 22箇所 秋田県由利地域振興局、山形県庄内総合支庁、由利本荘市役所、にかほ市役所(象潟庁舎、金浦庁舎、仁賀保庁舎)、酒田市役所(本庁、八幡総合支所、松山総合支所、平田総合支所)、酒田市総合文化センター、遊佐町役場、遊佐町立図書館、遊佐町生涯学習センター、遊佐町まちづくりセンター(5箇所)、道の駅3箇所(象潟、にしめ、鳥海)</li> <li>■募集期間: 平成23年9月30日(金)～平成23年10月16日(日)</li> <li>■回収票数: 2,346票(うちインターネット302票)</li> </ul>
	企業・団体等アンケート	アンケート票で回答(郵送)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象: 102社配布 商工会関係: 6団体、製造関係企業: 12社、トラック協会: 2団体、物流関係企業: 64社、観光関連: 5団体、バス協会: 1団体、交通事業者: 3社、医療関連: 4団体、農業関連: 4団体、漁業関連: 1団体</li> <li>■回答数: 51社</li> </ul>
	高校性アンケート	アンケート票で回答(訪問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象: 仁賀保高校(3年生137人)、遊佐高校(3年生40人)</li> <li>■回答数: 168票</li> </ul>
10/11 ～ 10/18	市町長意見照会	文書	<ul style="list-style-type: none"> <li>■対象: 由利本荘市長、にかほ市長、酒田市長、遊佐町長 (10/18) (10/11) (10/18) (10/11)</li> </ul>

### 3. 住民アンケート結果(1/5)

- 全体では、「必要だと思う」と回答した方が86%を占める。(質問④整備の必要性)
- 必要だと思う方の意見では、「早期の着手・完成」や日本海側の全線整備を望む意見のほか、「災害に強い道路」「走行性・安全性の高い道路」を望む意見が多く挙げられている。
- 必要だと思わない理由として、「現道で十分」という意見や、「交通量が少ない」、「利用頻度が少ない」ことなどが挙げられている。



#### 【質問⑧ 必要だと思わない理由】

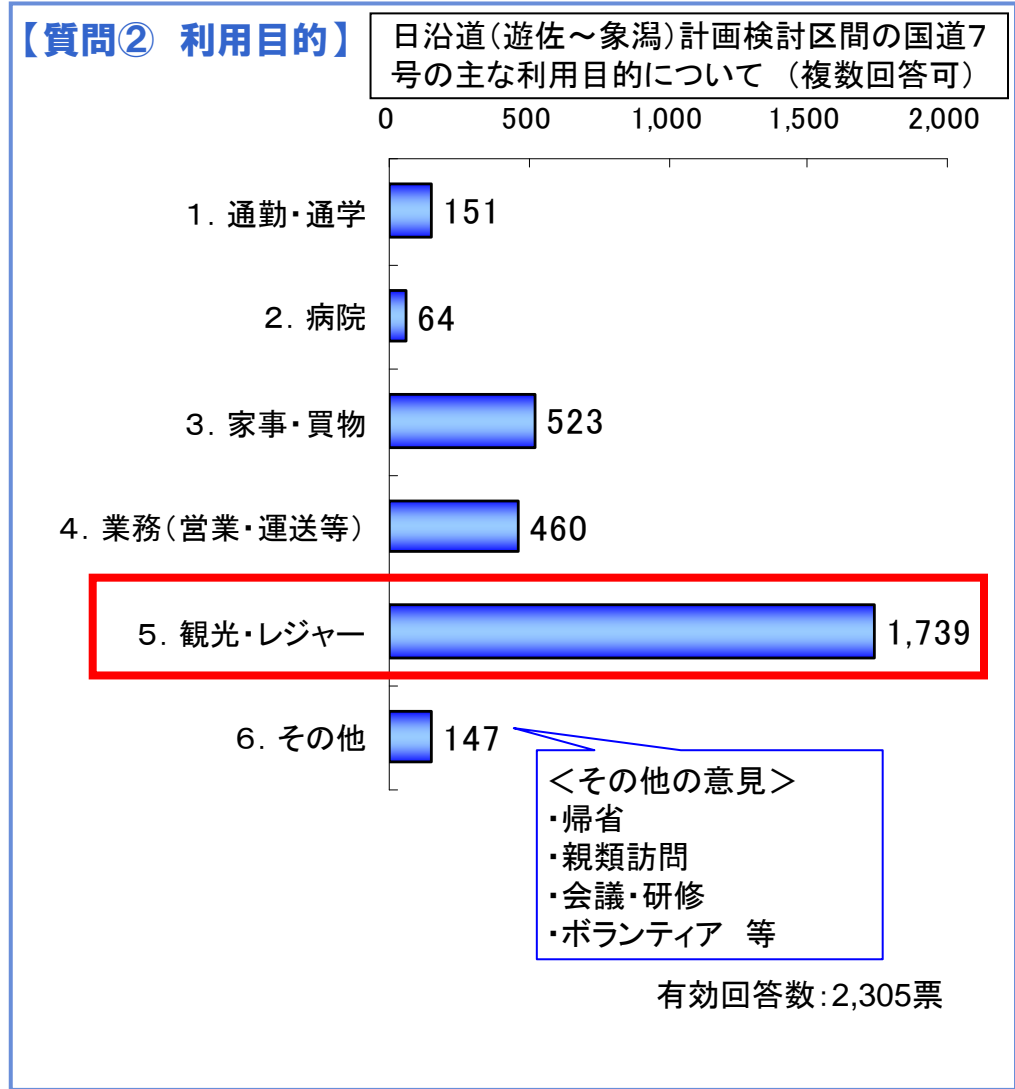
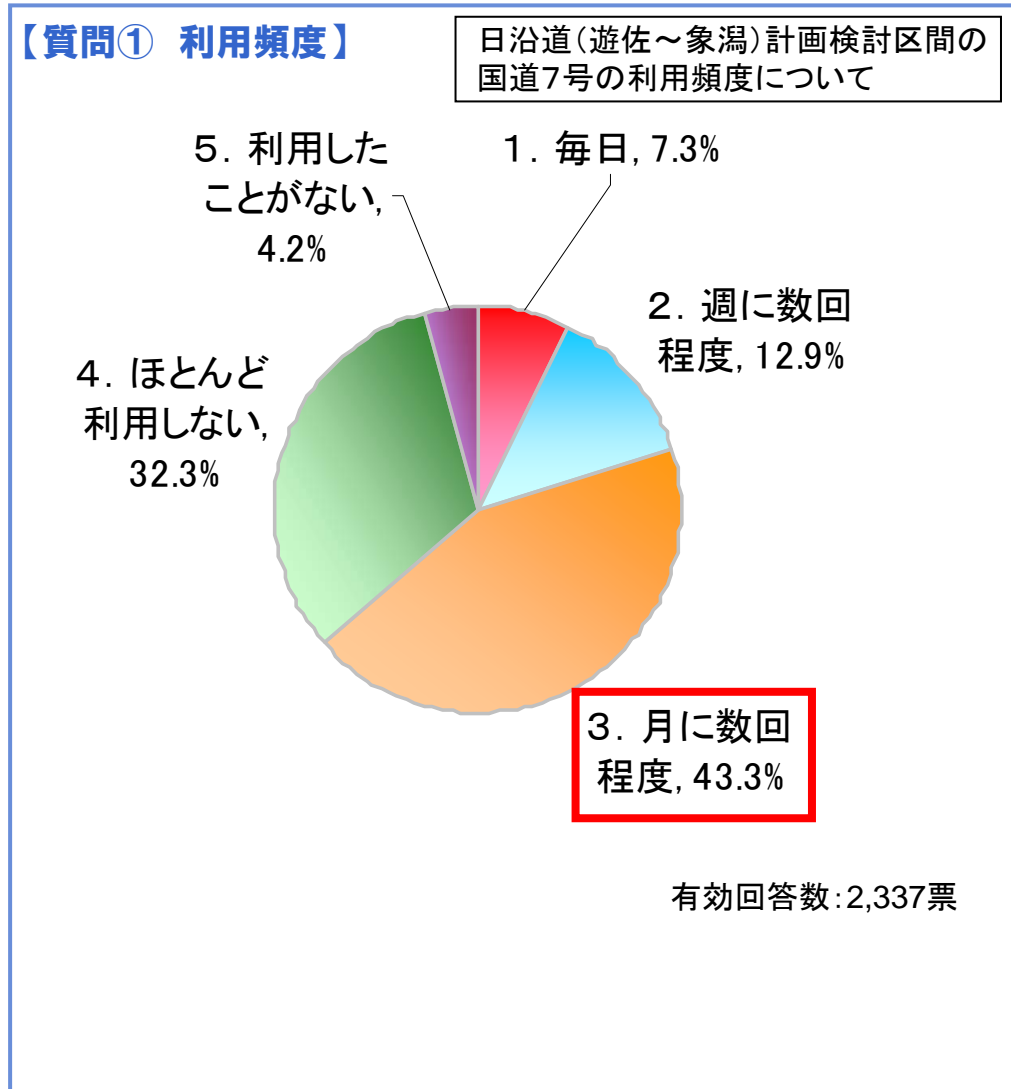
- ・現道で十分: 21件
  - ・交通量が少ない: 16件
  - ・利用頻度が少ない: 11件
- ※10票以上の意見

#### 【質問⑨ 自由意見(道路整備に肯定的な主な意見)】

- ・早期着手・完成を望む: 225件
  - ・日本海側の全線整備を望む: 87件
  - ・震災や通行止め等の災害に強い道路整備を望む: 50件
  - ・4車線(片側2車線)や追越車線による整備を望む: 46件
  - ・交流や観光連携に向けた整備を望む: 38件
  - ・走行性・安全性の高い道路整備を望む: 31件
  - ・全線新設案(案①)による整備を望む: 23件
- ※10票以上の意見

# 3. 住民アンケート結果(2/5)

- ➡ 利用頻度は、「月に数回程度」が43%最も多く、「毎日」も7%を占めている。(質問①利用頻度)
- ➡ 利用目的として、「観光・レジャー」が最も多く、次いで「家事・買物」が多い。(質問②利用目的)

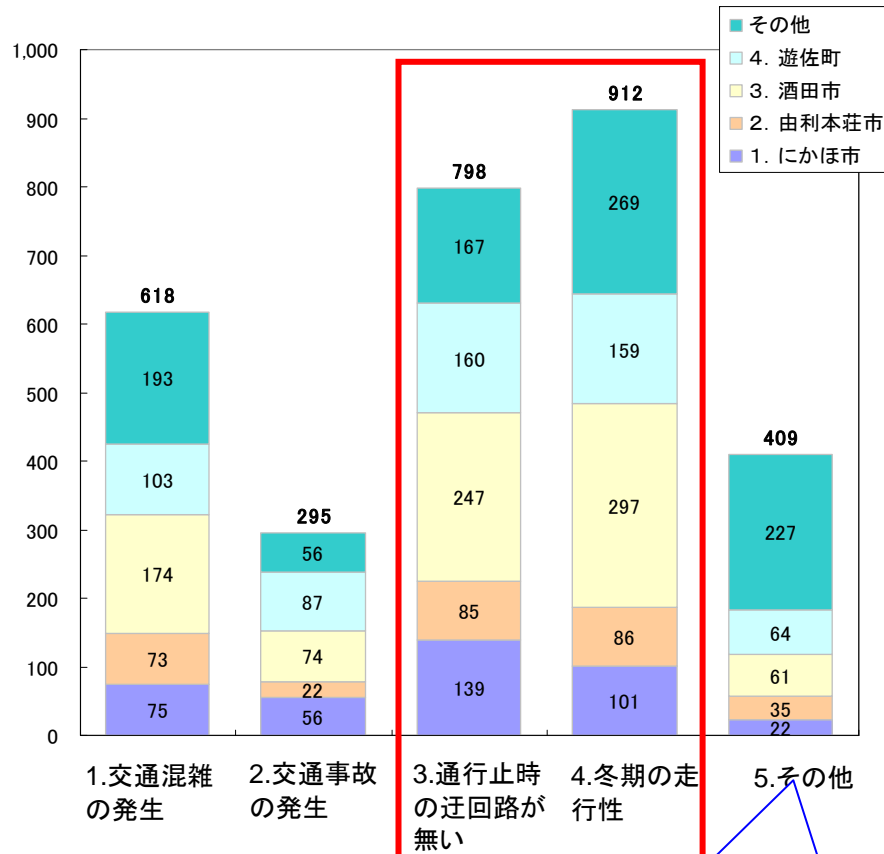


# 3. 住民アンケート結果(3/5)

- ➡ 現道の問題点として、「冬期の走行性」が40%と最も多く、次いで「通行止時の迂回路が無い」が35%となっている。(質問③現道の問題点)
- ➡ 必要だと思う方のうち、道路に期待する役割として、「早く走行できる道路」「災害に強い道路」「観光地や空港をつなぐ道路」が多く挙げられている。(質問⑤期待する役割)

## 【質問③ 現道の問題点】

日沿道(遊佐～象潟)計画検討区間の国道7号の交通問題について(複数回答可)

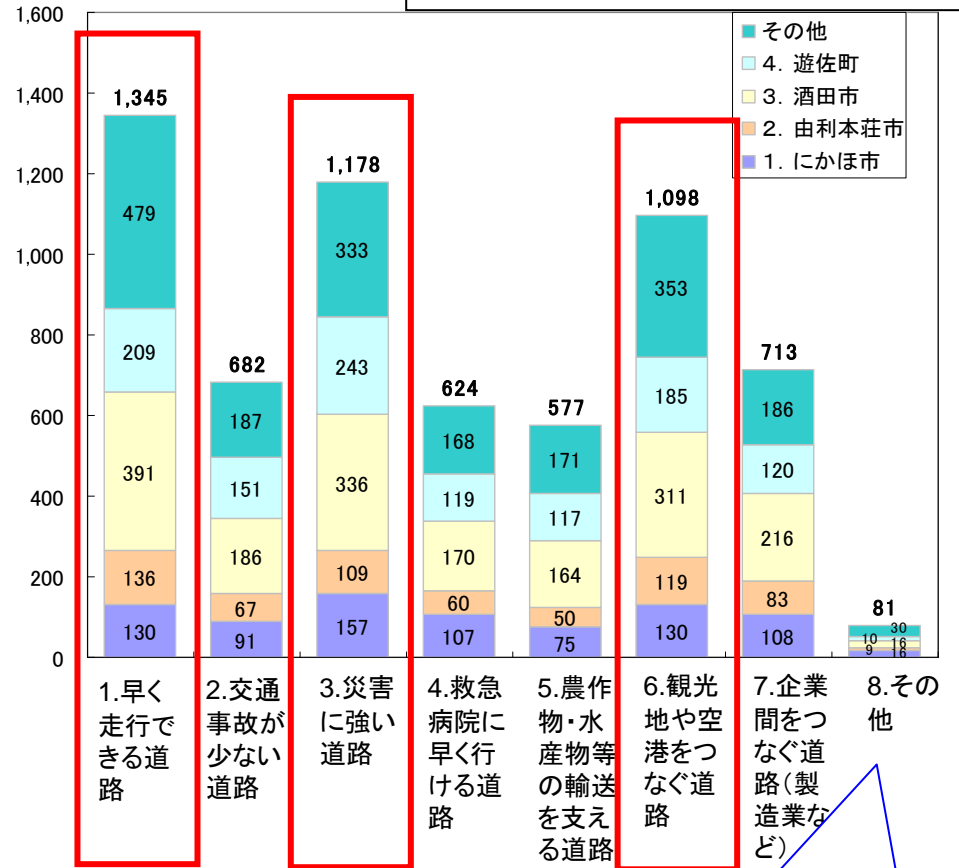


<その他の意見>  
 ・道路線形(道が狭い、急カーブ)  
 ・追越車線の不足  
 ・信号が多い  
 ・夜間の暗さ

有効回答数:2,346票

## 【質問⑤ 期待する役割】

日沿道(遊佐～象潟)にはどのような役割が必要だと考えますか?(複数回答可)



<その他の意見>  
 ・迂回路の確保  
 ・線形のよい道路の確保  
 ・県内外からのアクセス性の確保  
 ・救急医療施設へのアクセス性の確保

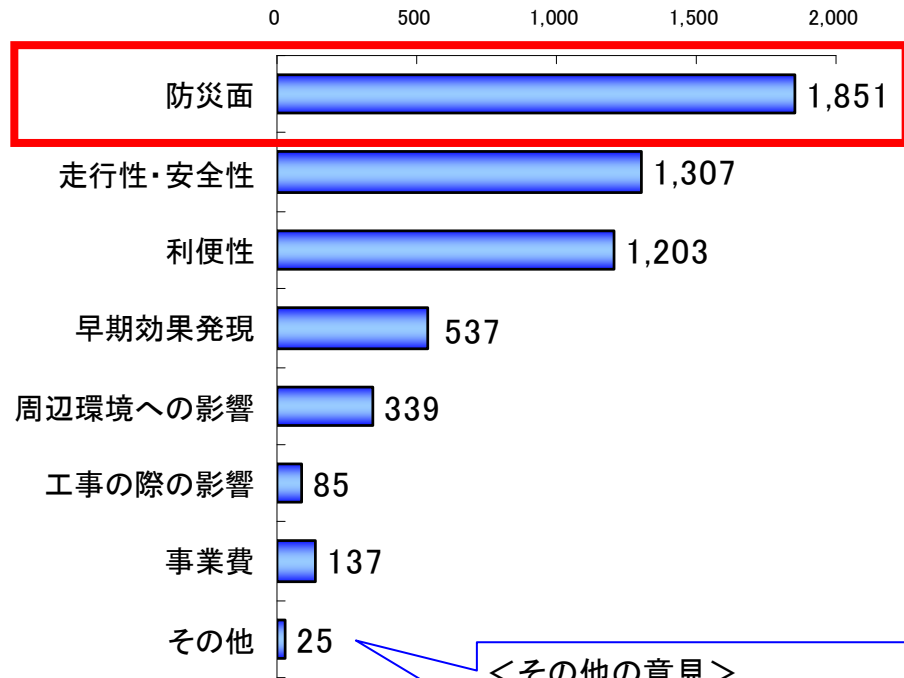
有効回答数:1,971票

# 3. 住民アンケート結果(4/5)

- ➡ 問6の重視すべき項目では、「防災面」に関する項目が最も多く挙げられている。(質問⑥重視する項目(全体))
- ➡ 優先順位別では、優先順位1~3位のいずれにおいても、「防災面」が最も多く挙げられている。(質問⑥重視する項目(順位別))

【質問⑥ 重視する項目(全体)】

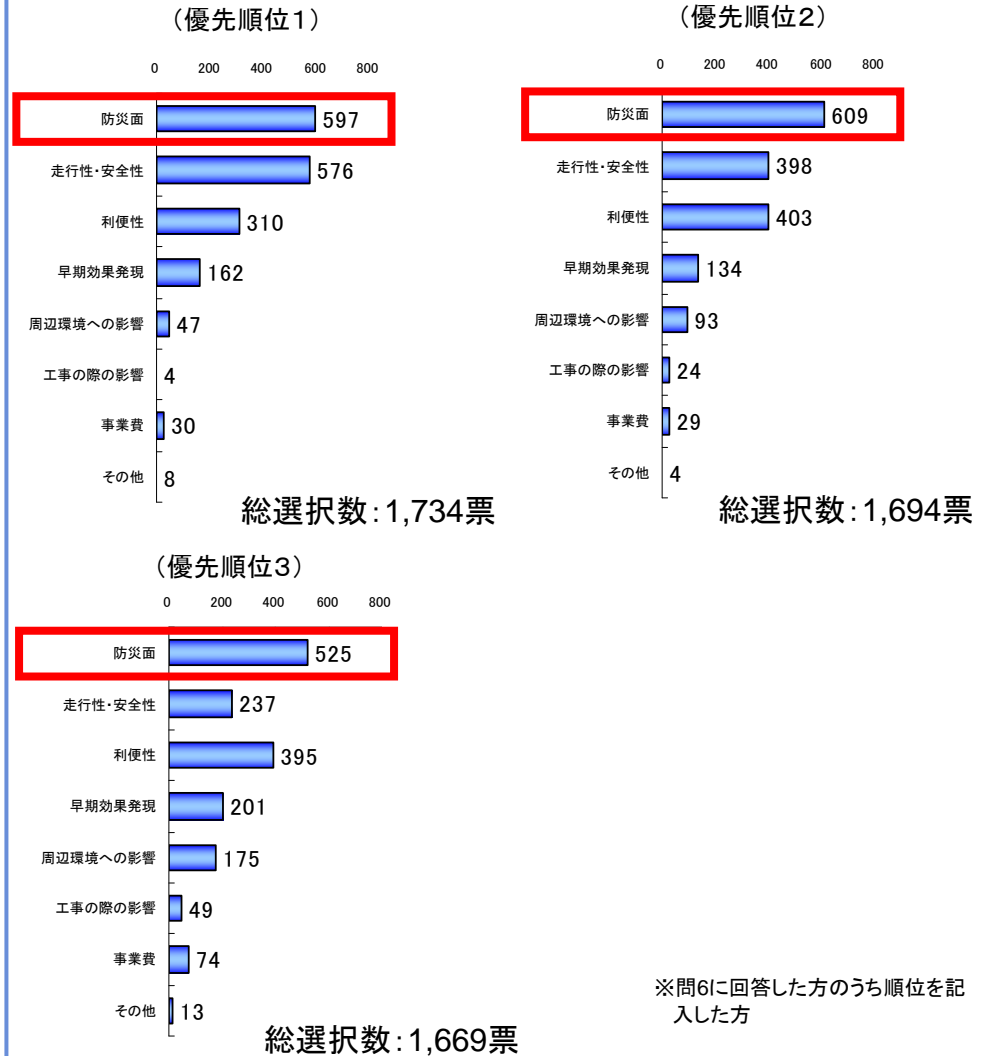
道路整備にあたり、重視すべき項目はどれだと思いますか？ (3つ選択)



<その他の意見>  
 ・遺跡、自然環境の保全  
 ・利用料金  
 ・救急医療施設へのアクセス性

総選択数: 5,484票  
 ※問4で「必要だと思う」と回答した方のうち、問6に回答した方

【質問⑥ 重視する項目(順位別)】

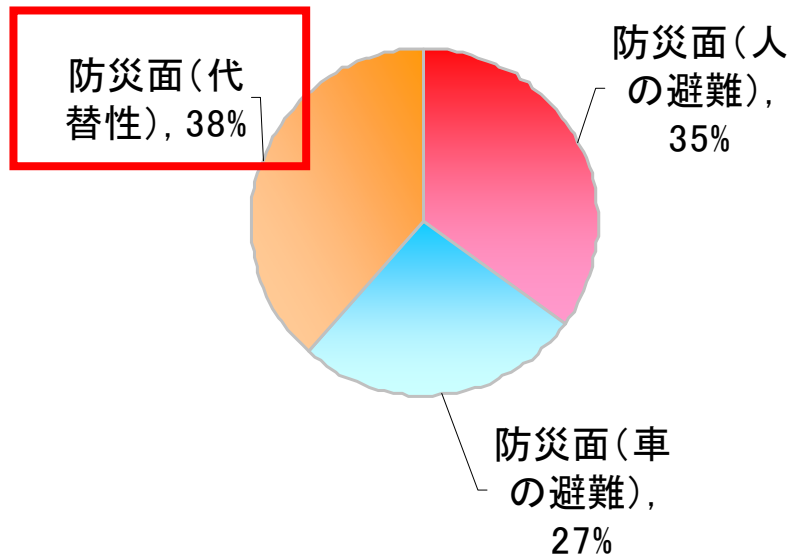


※問6に回答した方のうち順位を記入した方

### 3. 住民アンケート結果(5/5)

- ➡ 問6の重視すべき項目で「防災面」を選択した方では、代替性が38%と最も多く選ばれている。(「防災面」を重視する方の内訳)
- ➡ また、問6の重視すべき項目で「走行性・安全性」や「利便性」を選択した方でも、ダブルネットワークによる災害に強い道路整備(全線新設案希望意見含む)や、4車線や追越車線による整備を望む意見を挙げられている。

#### 【「防災面」を重視する方の内訳】



総選択数: 1,851票

#### 【「走行性・安全性」や「利便性」を重視する方の主な意見】

##### ●ダブルネットワークによる災害に強い道路整備を望む: 38件

- ・東日本大震災を受け、国道7号と高速道路の2本が必要と思います。
- ・地震による津波により国道7号が通行止めになった場合、物流が滞り大変困る。等

##### ●全線新設案による整備を望む: 19件

- ・高速道路本来の機能を考えれば、「全線新設」が望ましい。
- ・50億円程度の差しかなく、何かで止まったときの迂回路が無いのであれば、新設案を望みます。等

##### ●4車線や追越車線による整備を望む: 39件

- ・コストの縮減は必要と思うが、走行安全性の観点から可能な限り4車線での併用を図るべきと思います。
- ・緊急時に備えて追い越し車線と国道7号に繋がるゲートの確保の検討。等

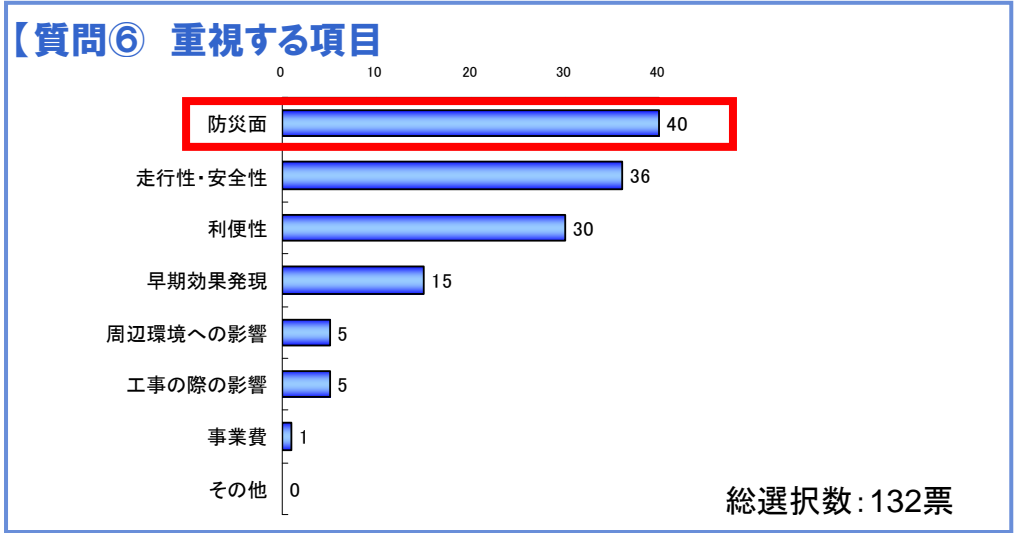
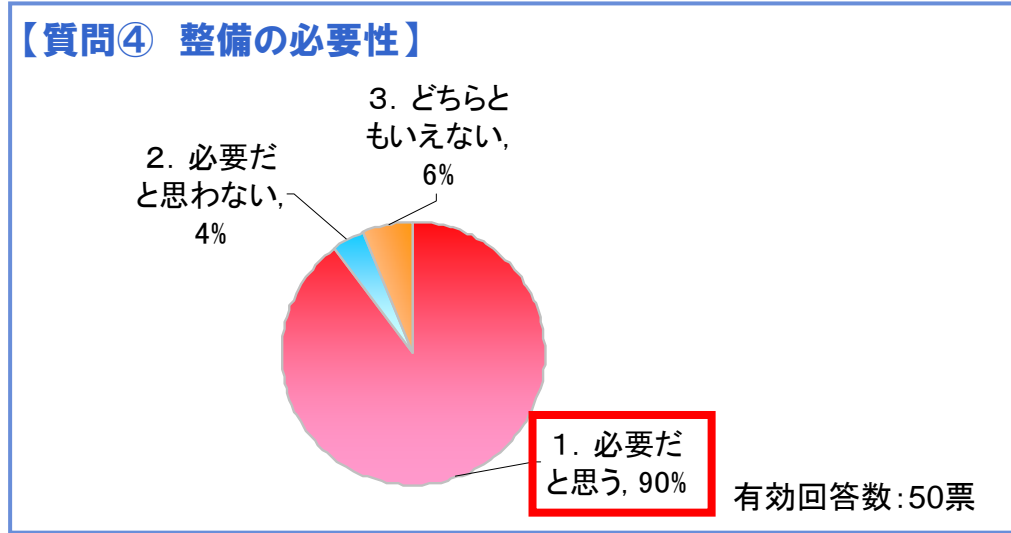
有効回答数: 501票

※問6で「走行性・安全性」や「利便性」を選択した方のうち自由意見を記述した方



# 4. 企業等からの意見聴取結果(1/2)

- 企業・団体のうち、「必要だと思う」との回答が90%を占める。(質問④整備の必要性)
- 重視すべき項目では「防災面」が最も多く挙げられている。(質問⑥重視する項目)

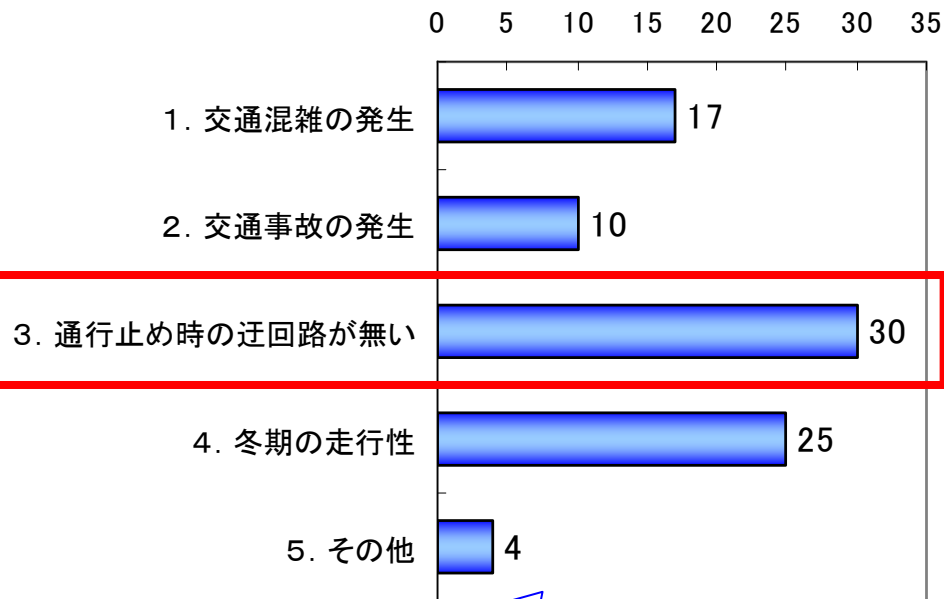


分野	意見
商工会関連	・時間短縮により、工業製品の首都圏との取引拡大、観光ルートの新開発による観光客数の増加、特産物等生鮮食品の流通拡大等が期待される。<商工会> ・災害時、荒天時の代替性を重視した場合、全線新設案が望ましい。<商工会>
企業等	・製品輸送(出荷)に関し、万一の通行止め等、異常発生時の迂回路選択が容易になる。<電子部品製造業> ・当社の山形工場の行き来が高速道で全てつながり、利便性が大変向上する。<製造業>      ・取引企業の拡大や地域格差の是正が期待される。<製造業>
物流関連	・トラック運送事業者にとって高速道路が全線つながることは輸送効率、安全運行にも大きな効果が期待される。<トラック協会> ・関東、関西方面に向けた輸送リードタイムの短縮→集荷から発送までの諸作業時間の緩和。象潟～遊佐間通行不可の場合の代替確保。<電子部品関連輸送業者> ・新潟、秋田に走行する車両が多く、時間の短縮や労働時間の短縮に繋がります。<石油関連輸送業者> ・時間の短縮。災害時の迂回路としての利用。<生鮮食品輸送業者>
観光関連	・山形・新潟の日本海側への観光地への短縮により、多くの観光地見学が可能となる。また、同県から秋田への観光客が多くなる。・隣県との交流人口が増し、両県の経済にも良いと思う。<旅行業協会> ・日本海きらきら羽越観光圏内の利便性(移動時間の短縮等)の向上。<観光協会>
交通事業者	・秋田から山形経由での仙台・新潟方面への高速路線バスの新設が可能となる。震災時、迂回路として新潟経由で東京に連絡したが、日沿道は是非必要である。<バス協会> ・高速バスの時間短縮、通行止めの際の代替路線等によるバス路線の確保。<高速バス事業者>
医療関連	・高速交通網の整備により広域災害への消防緊急援助隊出動時における迅速性及び利便性が向上する<消防本部> ・山形県の病院への搬送時に使用するとカーブも少なく信号もないとの事で傷病者を安定して搬送することが出来る。<消防本部> ・山形県との県境近くに血液製剤を供給する病院があり、緊急時の搬送時間が短縮し、救命に繋がる。<医療機関>
農・漁業関連	・水産物供給の可能性が広がる。<漁協>

## 4. 企業等からの意見聴取結果(2/2)

- ➡ 企業・団体からの意見では、国道7号遊佐～象潟間の問題点として、「通行止め時の迂回路が無い」との回答が最も多い。(質問③現道の問題点)
- ➡ また、道路に期待する役割として、「災害に強い道路」を最も多く挙げている企業が多い。(質問⑤期待する役割)

### 【質問③ 現道の問題点】

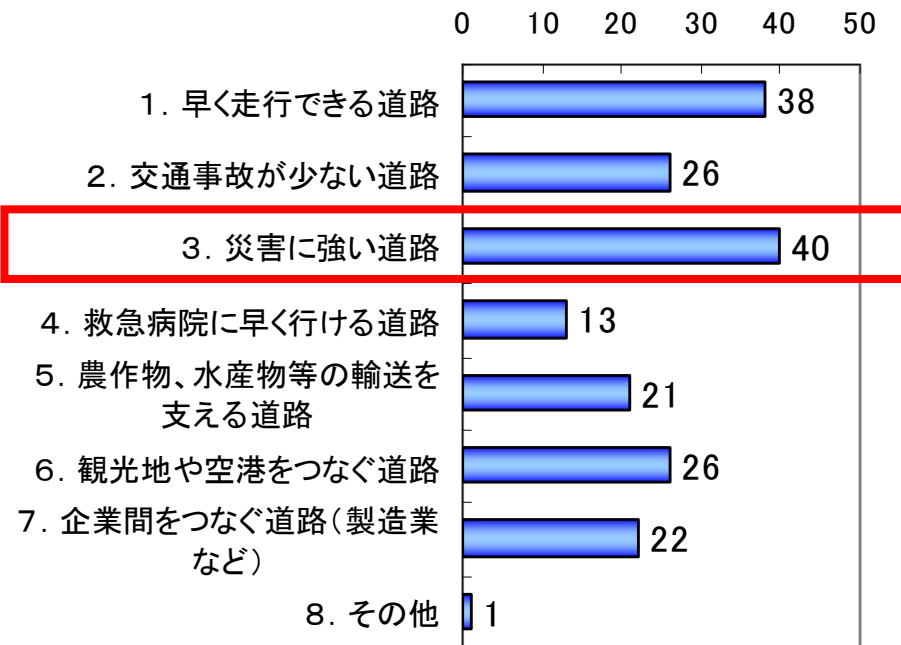


#### <その他の意見>

- ・県境付近におけるカーブの多さ、狭さ
- ・冬期の路面凍結による事故の危険性の高さ

有効回答数:51票

### 【質問⑤ 期待する役割】

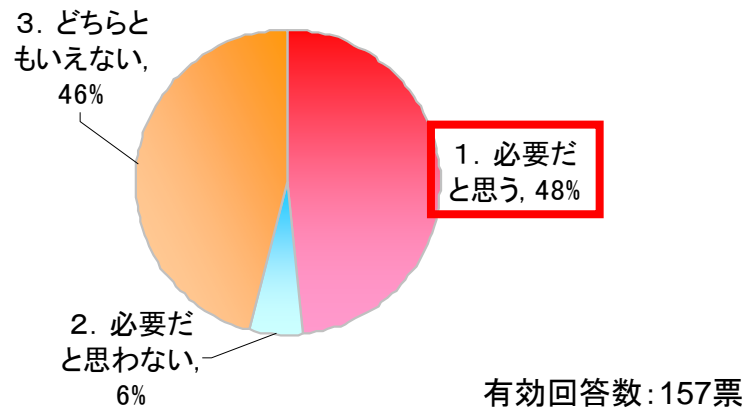


有効回答数:45票

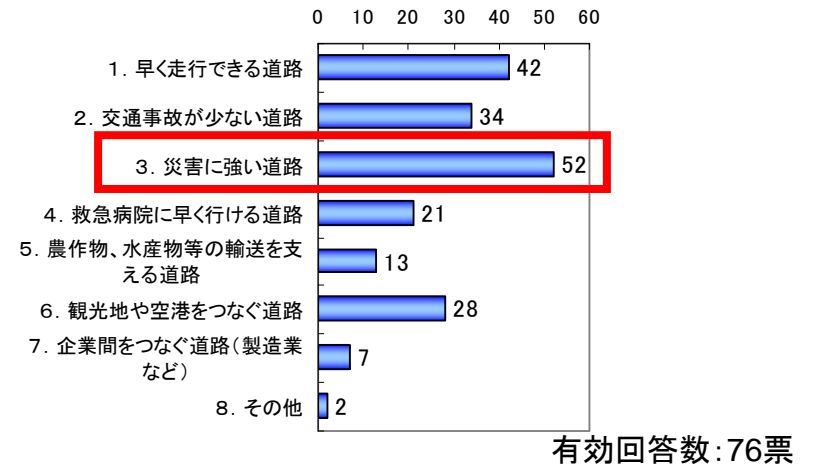
# 5. 高校生からの意見聴取結果

- ➔ 道路整備の必要性については、「必要だと思う」が約48%を占めている。(質問④整備の必要性)
- ➔ 現道の問題点としては、「冬期の走行性」が最も多く挙げられている。(質問③現道の問題点)
- ➔ 道路に期待する役割としては、「災害に強い道路」が最も多く挙げられている。(質問⑤期待する役割)
- ➔ 重視すべき項目では「防災面」が最も多く挙げられている。(質問⑥重視する項目)

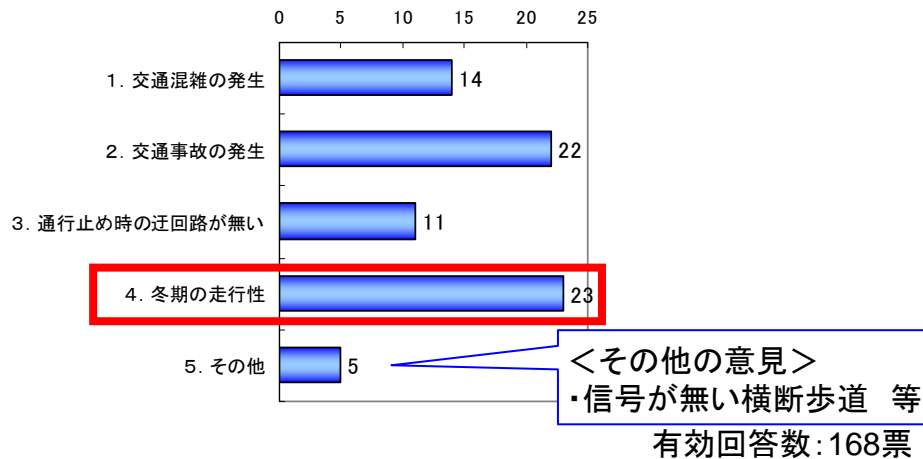
## 【質問④ 整備の必要性】



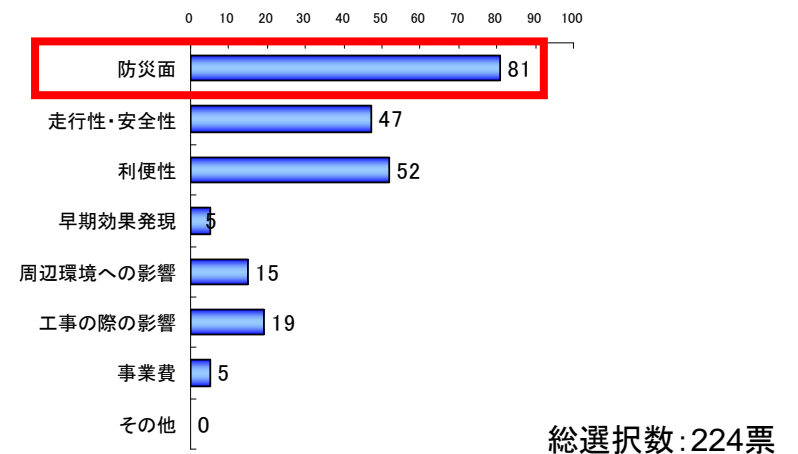
## 【質問⑤ 期待する役割】



## 【質問③ 現道の問題点】



## 【質問⑥ 重視する項目】



## 6. 意見聴取結果(まとめ)

### ①住民アンケート

- 当該道路が「必要だと思う」との回答が大多数となっている。
- 現道の問題として「冬期の走行性」「通行止め時の迂回路が無いこと」が多く挙げられており、期待する役割としては「早く走行できる道路」「災害に強い道路」「観光地や空港をつなぐ道路」が多く挙げられている。
- 道路整備時に重視する項目としては、「防災面」に関する項目が最も多く、中でも「代替性」に関するニーズが高い。
- 「走行性・安全性」や「利便性」を重視する方でも、ダブルネットワークによる災害に強い道路整備(全線新設案希望意見含む)や、4車線や追越車線による整備に対するニーズも挙げられている。

### ②企業アンケート

- 当該道路が「必要だと思う」との回答が大多数であり、道路整備時に重視する項目として、「防災面」が最も多く挙げられている。
- 現道の問題として「通行止め時の迂回路が無いこと」が最も多く挙げられており、期待する役割としては「災害に強い道路」が多く挙げられている。

### ③高校性アンケート

- 道路整備の必要性については、「必要だと思う」が約半数となっている。
- 現道の問題として「冬期の走行性」が最も多く挙げられており、期待する役割としては「災害に強い道路」が多く挙げられている。
- 道路整備時に重視する項目としては「防災面」が最もニーズが挙げられている。

# 7. 市町長の意見聴取結果

## 意見照会の回答

市町名	意見
由利本荘市	<p>●遊佐～象潟間17kmの整備については、下記の理由により「<b>全線新設整備</b>」を要望いたします。</p> <p>①東日本大震災を受け重要路線の代替機能の重要性がさらに浮き彫りになり、国道7号と日沿道のダブルネットワークにより、災害時に避難車両が集中しても、本線に支障が無く、津波災害時においても利用可能であること。</p> <p>②日本海側の物流ルートが太平洋側の代替ルートとしての機能を果たすほか、新潟港、酒田港、秋田港、能代港を結ぶ速達性のあるルートが形成され、諸外国との貿易の拡大、経済交流などの振興が期待できるとともに、国道7号と日沿道のダブルネットワークにより、1本の路線が通行止になっても、もう1本が通行可能であることから、物流ルートの確実性が増すこと。</p>
にかほ市	<p>●遊佐～象潟間17kmの整備については、下記の理由より「<b>全線新設整備</b>」を望みます。</p> <p>①東日本大震災を踏まえ、太平洋側的高速道路とダブルネットワークを形成し、日本全体の国土軸としての災害に強い道路網形成が重要であること。</p> <p>②一分一秒を争う救命救急において、これまでは高次医療施設のある秋田市への搬送がほとんどであるが、新設整備により酒田市にある高次医療施設への速達性・確実性が確保されること。</p> <p>③日本海側の物流が太平洋側の代替ルートとしての機能を果たすほか、新潟港、酒田港、秋田港、能代港を結ぶ新たなルートが形成され、東アジアとの貿易の拡大、経済交流などの振興が期待できること。</p>
酒田市	<p>●遊佐～象潟間17kmの整備については、下記から防災面・代替性を優先すべきであり、「<b>全線新設案</b>」が妥当な計画であると考えます。また、当該路線は経済、物流、観光、医療等多面的に渡り重要な路線であるため、早期の事業着手も要望します。</p> <p>①東日本大震災における被害軽減や復旧・復興に対して道路が果たした役割は非常に大きく、本地域でも住民の生命や財産、生活を守るため、日本海沿岸東北自動車道と国道7号のダブルネットワークの形成が不可欠であること。</p> <p>②現道活用案については、経費節減よりも、現道改築による長期間にわたる交通規制等による地域経済への深刻な打撃が懸念されること。</p> <p>③酒田市内に開設された第三次救急医療機関(救命救急センター)への救急搬送時の確実な速達性と代替ルートの確保が、命の道として重要な課題であること。</p> <p>④重点港湾指定を受けた酒田港がロシアや北東アジアへのゲートウェイとして環日本海経済圏の一役を担うべく、新潟港や秋田港等の周辺港湾との連携を図ることのできる必要不可欠な路線であること。</p>
遊佐町	<p>●遊佐～象潟間17kmの整備にあたっては、日本海沿岸自動車道と国道7号のダブルネットワークの完成をめざす「<b>全線新設案</b>」にそって早期事業化に着手されるようお願いいたします。</p> <p>○日本海沿岸東北自動車道が、高速ネットワーク日本海国土軸として躍進著しい東アジアとの貿易の拡大、経済交流の促進にとって欠くことのできない重要な基幹インフラであり、また、今回の東日本大震災で明らかになったように、物流面における太平洋側の補完代替路線としても、その整備が喫緊の課題と考えられること。</p> <p>○遊佐～象潟間の整備に関しては、東アジアや国内のインバウンド観光にとって、庄内、秋田の両空港から広域山岳観光のゲートウェイまで約1時間という時間的距離は、高速道路ネットワークの整備に伴い飛躍的にその魅力が高まっていくものと考えられること。</p> <p>○現在、遊佐～象潟間の通行は、県境を結ぶ唯一の道路、国道7号に依存しており、冬期間の地吹雪や交通事故、土砂災害などによる通行止めに対してきわめて脆弱なネットワークとなっていること。</p>

### ◆秋田県知事の意見

計画段階評価に係る「日本海沿岸東北自動車道 遊佐～象潟」については、**全線新設案**で進めることに同意します。東北地方全体での代替性や災害に対する対応力の強化はもとより、環日本海地域との物流・交流の連携強化を図るためにも当該区間の早期整備が必要であり、国の強化かつ迅速な対応をお願いします。

### ◆山形県知事の意見

日本海沿岸東北自動車道「遊佐～象潟」を**全線新設案**で進めることについて、本県としては同意します。日本海沿岸東北自動車道は、東日本大震災からの復興や地域活性化のために必要不可欠な道路でありますので、東北地方全体が相互にバックアップできるよう一日でも早く全線開通されるよう、特段のご配慮をお願いいたします。

### ◆対応方針(案)

#### ・【案①】全線新設案とする

#### (理由)

・【案①】全線新設案は、政策目標である「ダブルネットワークによる常時・非常時の信頼性向上」が達成でき、防災面で特に優れ、走行性・安全性の確保や災害に強い道路であり、地域のニーズにも応えられる。

# 9. 事業化までの流れ

H23.9.21  
東北地方小委員会

道路が通る概ねの範囲の複数案の提示(1km幅・IC有り)

⇔ 地域の意見聴取

今回

H23.11.11  
東北地方小委員会

- ・道路が通る概ねの範囲の絞り込み
- ・概ねのルート・IC位置の提示(500m幅・IC有り)

⇔ 地域の意見聴取

HO.O  
東北地方小委員会

ルートの確定

都市計画手続き等

事業評価手続き

新規事業化

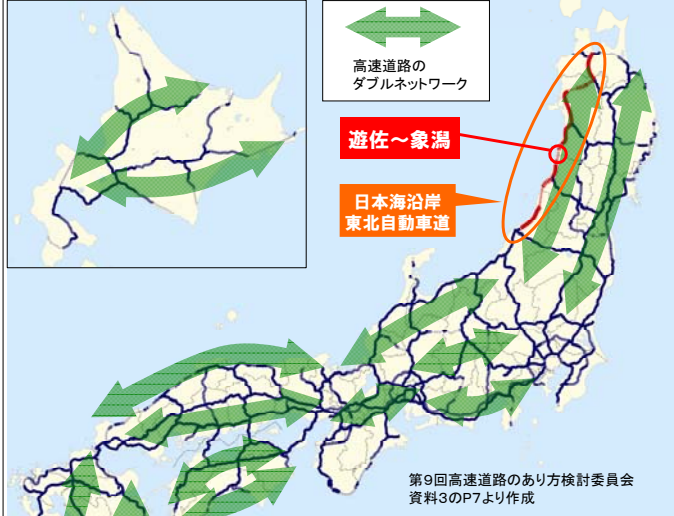
計画段階評価

# 日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟)の役割

## 日本全体の国土軸として 地域の課題を解決する道路として

日本全体の国土軸の形成とダブルネットワークによる信頼性向上

- 東日本大震災時には、日本海側の道路が、救助隊や支援物資、燃料等の輸送において重要な役割を果たしました。
- 日本海沿岸東北自動車道の整備により、太平洋側の高速道路とのダブルネットワークを形成し、日本全体の国土軸としての災害に強い道路網を形成します。



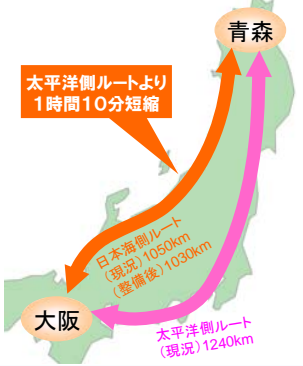
東日本大震災を踏まえた緊急提言 平成23年7月14日高速道路のあり方検討有識者委員会抜粋

日本海側の物流網が太平洋側の代替ルートとして機能(関越自動車道、日本海沿岸東北自動車道、港湾(新潟港、秋田港等))

・大型車交通量: 大震災後、関越自動車道は1.5倍、日本海沿岸東北自動車道は1.3倍に増加  
 ・港湾取扱貨物量: 大震災後、新潟港は1.2倍、秋田港は1.4倍に増加

### 国内の効率的な移動経路の確保

●青森～大阪間の所要時間は、日本海沿岸東北自動車道が全線開通すれば太平洋側ルートより約1時間10分早くなります。(日本海側ルートが最短距離だが、現在は高速道路が整備されている太平洋側ルートの方が早い状況)



### 地域の高次医療施設への速達性確保

●救命救急機能を有する高次医療施設へ時間を要する地域が存在するため、日沿道整備により速達性の確保を図ります。



※県境地域: 由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町

### (参考)国道7号の状況写真です

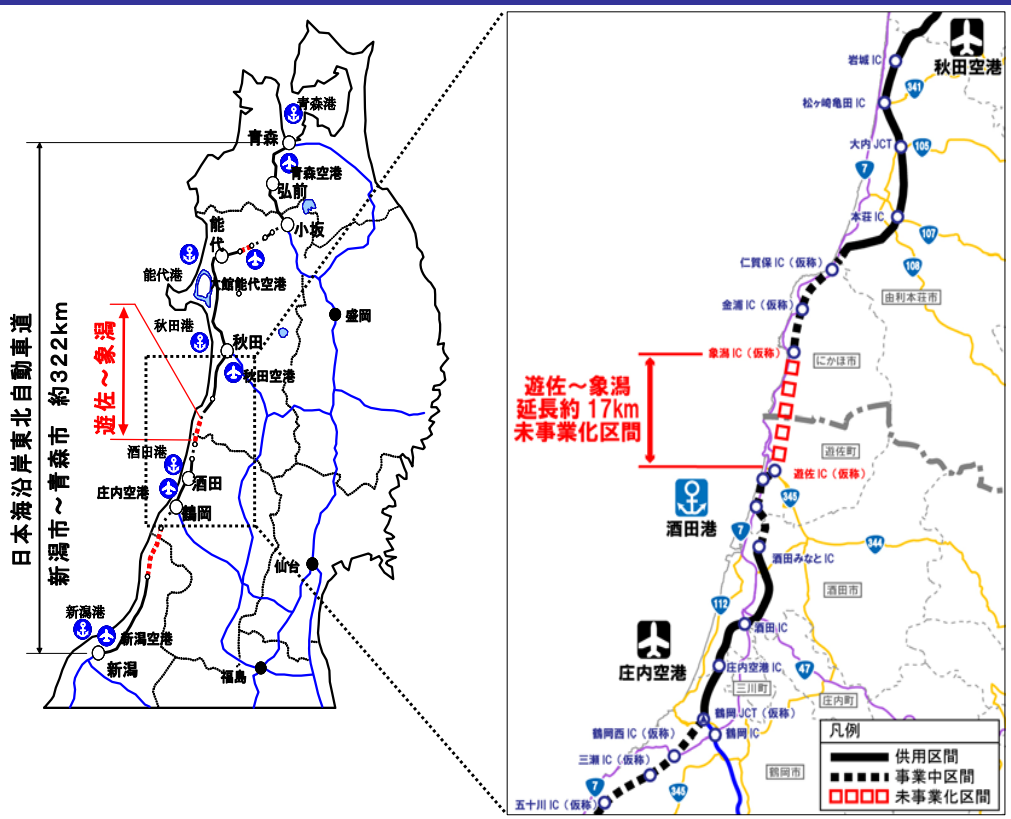


※中面の図面上に写真位置(丸数字)を示しています。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 調査第二課  
 <TEL> 018-864-2289 (直通)  
 酒田河川国道事務所 調査第二課  
 <TEL> 0234-27-3494 (直通)

# 日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟)の計画検討に関するアンケート

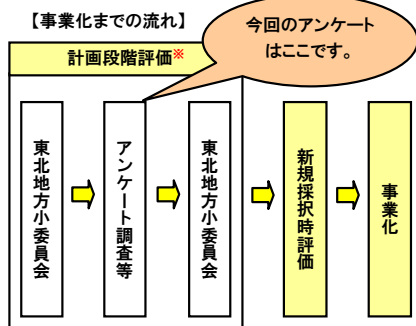


日本海沿岸東北自動車道は、新潟県新潟市を起点として村上市、山形県鶴岡市、酒田市、秋田県秋田市、能代市、大館市を經由して青森県青森市に至る延長約322kmの高速道路です。

今般、未事業化区間である遊佐～象潟間の計画検討にあたり、みなさまのご意見をお聴きたく、アンケートにご協力をお願いします。

当該区間の高速道路整備にあたって、私たちは、**全線新設案(全線新しい高速道路でつなぐ案)**と、**現道活用案(吹浦バイパスの一部を高速道路に改良し、他の区間は新しい高速道路でつなぐ案)**の2案を検討しています。

※みなさまからのご意見は計画段階評価※での地域からの意見として「社会資本整備審議会 道路分科会東北地方小委員会」に報告いたします。



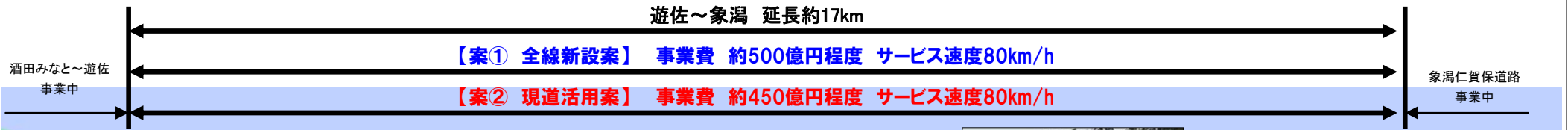
※計画段階評価とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、代替案の比較評価を行う計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。

東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページでご覧いただけます。  
 URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/ir/shouinkai/index.html>

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所 酒田河川国道事務所  
 秋田県、山形県、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町



# 【案①】全線新設案、【案②】現道活用案の特徴



【小砂川バイパスを現道活用できない理由】  
 ●急カーブがあるなど、高速道路としてのサービス速度(80km/h)を確保できる構造でない。  
 ●自動車専用道路化した際に、小砂川バイパスに直接取り付いている道路から歩行者や軽車両が侵入不可となるため、側道整備が必要となり、コスト高となる。

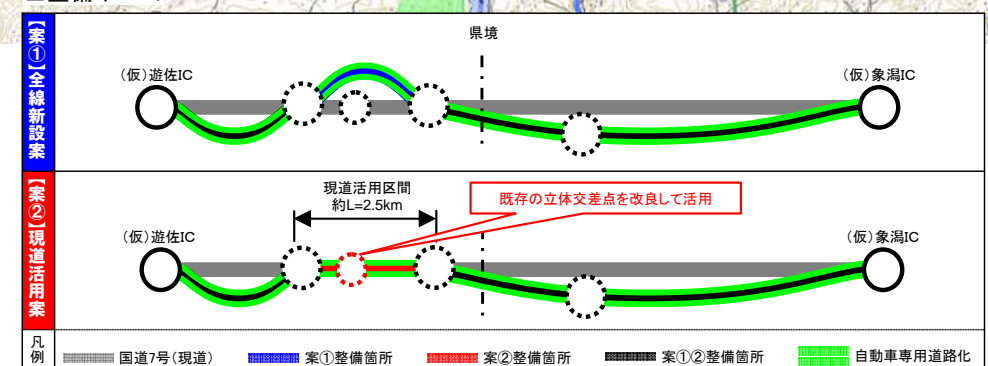
交通量凡例	凡例
現況交通量(H17)	【案①】全線新設案
案①将来交通量(H42)	【案②】現道活用案
案②将来交通量(H42)	【案②】現道活用区間
	【案①②】アクセス箇所
	【案②】アクセス箇所
	冬期旅行速度低下区間(速度差20km/h以上)
	急カーブ箇所(R<150m)
	急勾配箇所(4%以上)
	山形県側津波予想浸水域
	想定地震(M7.7)
	参考地震(M8.5)
	秋田県側津波予想浸水域
	津波予想浸水域
	津波避難対象区域

## 2つの案の特徴

	【案①】全線新設案	【案②】現道活用案	
概要	全線新しい高速道路でつなぐ案	吹浦バイパスの一部を高速道路に改良し、他の区間は新しい高速道路でつなぐ案	
防災面	機能	高台に位置し、津波からの避難場所として機能。また、救援・救助活動の主軸として機能	
	人の避難について	避難階段※等の施設の設置を検討可能	
	車の避難について	避難車両が集中しても、本線の通行には支障なし(避難車両は吹浦バイパスで待機)	避難車両が集中すれば、本線が渋滞し、緊急車両等の通行に支障が出るおそれあり
	代替性について	国道7号と日沿道のダブルネットワークとなり、1本の路線が通行止めになっても、もう1本が通行可能	現道活用区間は日沿道のみとなり、代替路線がない(国道345号が並行しているが、津波浸水域を通過しているため、津波被災時は利用できない。)
特徴	走行性・安全性	どちらも走行性・安全性に優れる(サービス速度80km/hを想定)	
	利便性	・アクセス箇所は5箇所 ・歩行者及び軽車両以下は従来どおり現道を利用可能	・アクセス箇所6箇所(うち1箇所は既存の立体交差点を改良して活用) ・歩行者及び軽車両は現道活用区間は進入不可(国道345号を迂回)
	早期効果発現	・段階的に供用が可能である。	・段階的に供用が可能である。 ・現道を活用する分、案①に比べて早く供用できる。
	周辺環境への影響	重要な動植物等は回避	
	工事の際の影響	現道の利用に規制なし	現道を自動車専用道路化する工事が発生するため、その間、現道利用には規制が伴う
事業費	約500億円程度	約450億円程度	



## 整備イメージ



※避難階段等の防災施設については、今後地域と調整しながら設置箇所を検討

# 日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）の 計画検討に関するアンケート

意見募集のチラシをご覧頂き、皆様のご意見をお聴かせください

●インターネットによる回答も可能です

URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/yuzakisakata.html>

(東北地方整備局、秋田河川国道事務所、酒田河川国道事務所の各ホームページのトップページのバナー(下図イメージ)からもアクセスできます。また、秋田県、山形県、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町の各ホームページにおいても同様のバナーやお知らせ・新着コーナー等からアクセスできます。)

日沿道(遊佐～象潟)ご意見募集  
(10月16日まで)

## ■あなたご自身についてご記入ください。

あなた自身についてお聴きします。年齢、ご職業、性別、普通免許の有無について、あてはまるものを**1つ選び**、番号に○をつけてください。ご住所については、回答欄にご記入ください。

年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
職業	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4. 学生	5. 主婦	6. 無職	7. その他( )
住所	[ ] 都・道・府・県		[ ] 市・区・町・村		地区名[ ]		
性別	1. 男	2. 女	普通免許	1. あり 2. なし			

## ■質問①

あなた自身についてお聴きします。日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟)計画検討区間の国道7号の利用頻度について、あてはまるものを**1つ選び**、番号に○をつけてください。

1	毎日	2	週に数回程度	3	月に数回程度	4	ほとんど利用しない	5	利用したことがない
---	----	---	--------	---	--------	---	-----------	---	-----------

## ■質問②

日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟)計画検討区間の国道7号の主な利用目的について、あてはまるものを**全て選び**、番号に○をつけてください。なお、「6.その他」を選んだ方は回答欄にご記入ください。(複数回答可)

1	通勤・通学	2	通院	3	家事・買物	4	業務(営業・運送等)	5	観光・レジャー
6	その他( )								

## ■質問③

日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟)計画検討区間の国道7号には、どのような交通問題があると思いますか?あてはまるものを**全て選び**、番号に○をつけてください。**わかる範囲で場所もお答えください**。なお、「5.その他」を選んだ方は問題と思われることをご記入ください。

1	交通混雑の発生	場所( )	2	交通事故の発生	場所( )
3	通行止め時の迂回路が無い	場所( )	4	冬期の走行性	場所( )
5	その他( )				

※裏面に続きます

※こちらは裏面（表面からの続き）です。

#### 質問④

日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）の整備は必要だと思いますか？あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- |   |        |        |   |          |        |   |           |        |
|---|--------|--------|---|----------|--------|---|-----------|--------|
| 1 | 必要だと思う | 質問⑤へ ↓ | 2 | 必要だと思わない | 質問⑧へ ↓ | 3 | どちらともいえない | 質問⑨へ ↓ |
|---|--------|--------|---|----------|--------|---|-----------|--------|

#### 質問⑤ 質問④で「1」を選んだ方にお聴きします

日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）にはどのような役割が必要だと考えますか？あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。なお、「8. その他」を選んだ方は、「その他」の欄に担ってほしい役割をご記入ください。（複数回答可）

1	早く走行できる道路	2	交通事故が少ない道路
3	災害に強い道路	4	救急病院に早く行ける道路
5	農作物、水産物等の輸送を支える道路	6	観光地や空港をつなぐ道路
7	企業間をつなぐ道路(製造業など)	8	その他( )

#### 質問⑥

今回、道路整備にあたり、重視すべき項目はどれだと思いますか？あてはまる番号を3つ選び、優先順位（1, 2, 3）を[ ]内にご記入ください。なお、「11. その他」を選んだ方は「その他」の欄に取り入れるべき項目をご記入ください。（各項目の内容については添付のチラシ中面の左下に記載している比較表をご覧ください）

1	防災面(人の避難)	[ ]	2	防災面(車の避難)	[ ]	3	防災面(代替性)	[ ]
4	走行性・安全性	[ ]	5	利便性(アクセス箇所数)	[ ]	6	利便性(歩行者等の利用)	[ ]
7	早期効果発現	[ ]	8	周辺環境への影響	[ ]	9	工事の際の影響	[ ]
10	事業費	[ ]	11	その他( )	[ ]			

#### 質問⑦

今後、具体的なルート検討にあたって配慮すべき事項があればお聴かせください。

#### 質問⑧ 質問④で「2」を選んだ方にお聴きします

必要だと思わない理由をお聴かせください。

#### 質問⑨

その他ご意見がありましたらお聴かせください。

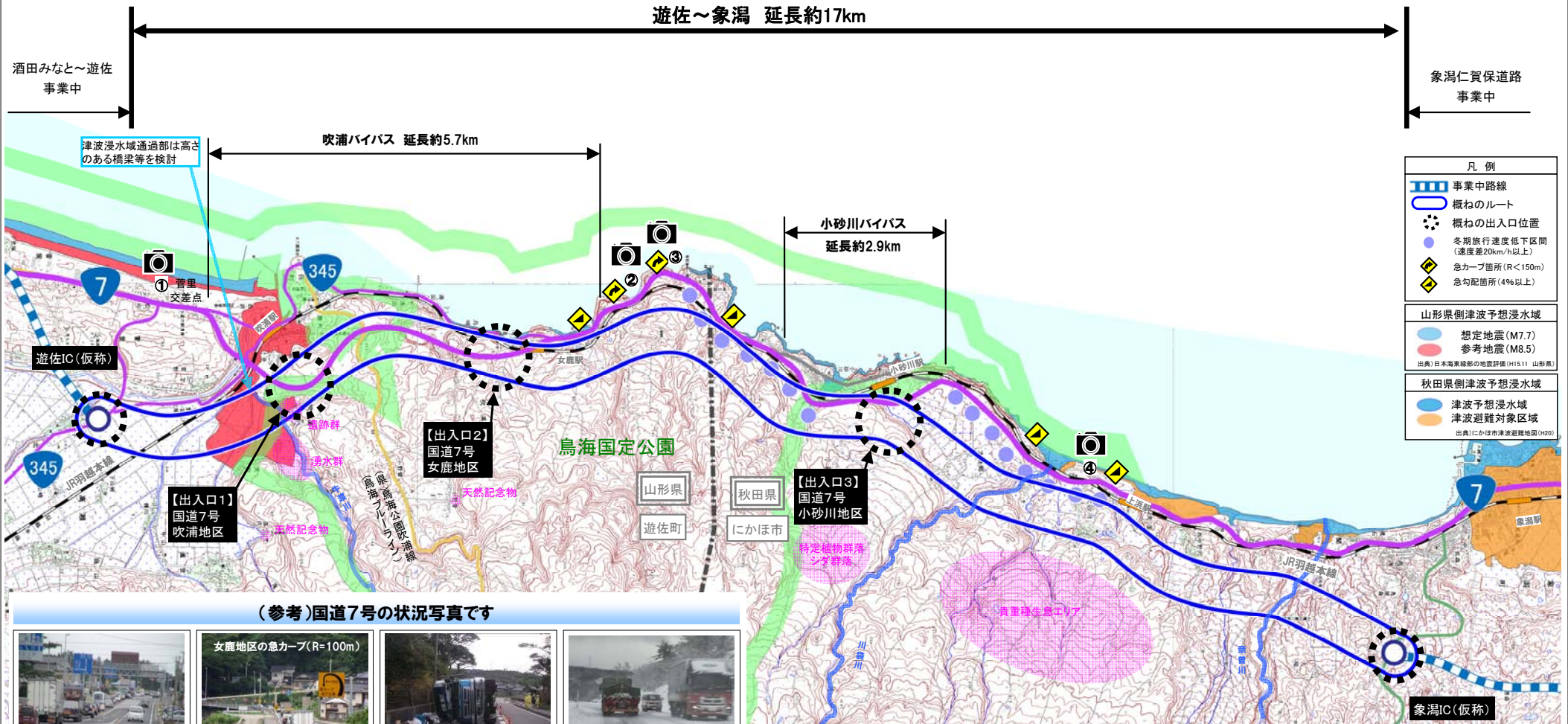
※アンケートは、平成23年10月16日（日）までに投函BOXへお願いします。

#### 【投函BOX設置箇所】

秋田県由利地域振興局、山形県庄内総合支庁、由利本荘市役所、にかほ市役所、酒田市役所、遊佐町役場、道の駅(象潟、鳥海)

ご協力ありがとうございました。

# 日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟) 概ねのルート及び出入口の位置



## (参考)国道7号の状況写真です



## <前回アンケートの際に頂いたルート検討に関する主なご意見>

- 環境や景観関連
  - ・海岸砂防林や鳥海山の貴重な動植物、湧水地に配慮したルートとしてほしい。
  - ・観光誘客に向けた海の見える風光明媚なルートとしてほしい。等
- アクセシビリティ
  - ・国道7号に近い位置にインターがあった方がよい。
  - ・地域の利便性を考慮してほしい。等
- その他
  - ・津波に強い、津波からの避難を支援するルートとしてほしい。
  - ・吹浦、鳥海付近は高台で眺望が良いので、防災拠点としてもPAを設置してほしい。等

## <概ねのルート及び出入口位置の考え方>

### 【概ねのルートの考え方】

○津波予想浸水域や、猛禽類等動植物の貴重種エリア、鳥海山麓の湧水群、天然記念物、遺跡を極力避け、国道7号現道へのアクセシビリティも考慮したルートを考えています。

### 【概ねの出入口位置】

○吹浦・女鹿地区からのアクセスや、国道7号菅里交差点の混雑緩和、鳥海ブルーラインとのアクセス、津波襲来時の避難を考慮した吹浦バイパス区間の2箇所と、秋田県側から日本海総合病院へのアクセス、県境部の線形不良区間の解消やリダンダンシー向上、津波襲来時の避難を考慮した小砂川付近のアクセスを考えています。

# 日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）の概ねのルート及び出入り口の位置についてのアンケート

意見募集のチラシをご覧ください、皆様のご意見をお聴かせください

●インターネットによる回答も可能です

URL: <http://www.thr.mlit.go.jp/akita/yuzakisakata.html>

(東北地方整備局、秋田河川国道事務所、酒田河川国道事務所の各ホームページのトップページのバナー(下図イメージ)からもアクセスできます。また、秋田県、山形県、由利本荘市、にかほ市、酒田市、遊佐町の各ホームページにおいても同様のバナーやお知らせ・新着コーナー等からアクセスできます。)

日沿道(遊佐～象潟)ご意見募集  
( 月 日まで)

## 質問①

あなたご自身についてお聴きします。年齢、ご職業、性別、普通免許の有無について、あてはまるものを**1つ選び**、番号に○をつけてください。ご住所については、回答欄にご記入ください。

年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
職業	1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 農林水産業 5. 学生 6. 主婦 7. 無職 8. その他( )						
住所	[ ] 都・道・府・県 [ ] 市・区・町・村 地区名[ ]						
性別	1. 男	2. 女	普通免許	1. あり			2. なし

## 質問②

今回、日本海沿岸東北自動車道（遊佐～象潟）について、前回皆様にお聴きした意見等に基づき、道路が通過する概ねのルート及び出入り口の位置の考え方について提示しております。

ルート選定の考え方や出入り口の位置について、妥当と思われますか？あてはまるものを**1つ選び**、番号に○をつけてください。なお、「3. 妥当でない」を選ばれた方は、その理由も下記回答欄にご記入ください。

1	妥当である	2	どちらとも言えない
3	妥当でない (その理由を下の記入欄にご記入ください。)	4	わからない

「妥当でない」を選ばれた方は、その理由をご記入ください。

例)〇〇地区とのアクセス性を考慮してほしい 等

※裏面に続きます。

※こちらは裏面（表面からの続き）です。

### ■質問③

今回提示した概ねのルート及び出入り口の位置について、防災機能などの付加機能をもたせるとすれば、どこに、どのような機能が必要だとお考えですか？

例)〇〇地区について、住民が避難できる避難階段を設置してほしい  
例)拠点避難施設となる〇〇中学校への緊急アクセス路を設置してほしい  
例)パーキングエリアなど、避難空間としての退避所を設置してほしい 等

### ■質問④

その他、ご意見等があればお聴かせください。

**※アンケートは、平成23年11月30日（水）までに投函BOXへお願いします。**

#### 【投函BOX設置箇所】

秋田県由利地域振興局、山形県庄内総合支庁、由利本荘市役所(本庁)、にかほ市役所(象潟・金浦・仁賀保庁舎)、酒田市役所(本庁、八幡・松山・平田総合支所)、遊佐町役場、遊佐町立図書館、遊佐町生涯学習センター、遊佐まちづくりセンター、道の駅(象潟、にしめ、鳥海)

ご協力ありがとうございました。